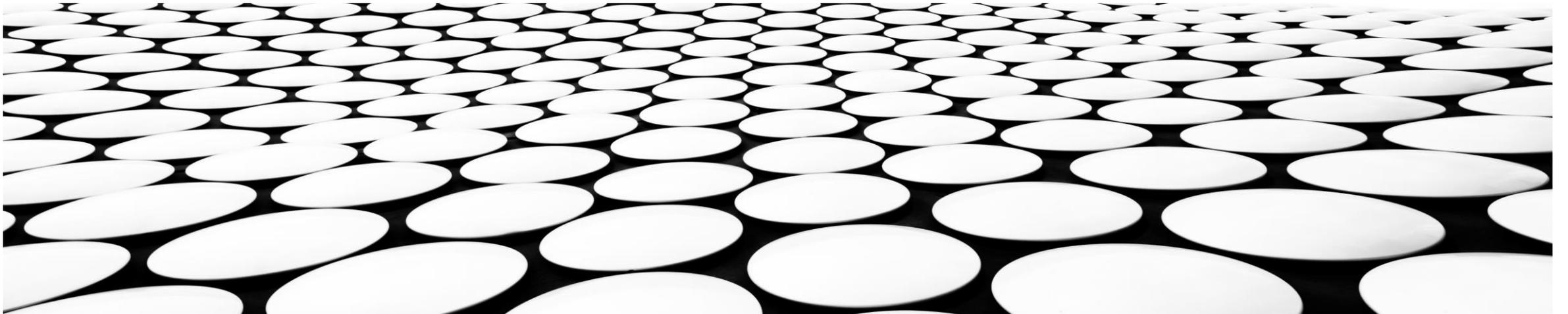


新型コロナウイルス感染症の施設内クラスターを経験して ～感染管理認定看護師の助言を受けて改善・工夫した点～

社会福祉法人緑風会

特別養護老人ホーム花ノ木の郷

相談員 荒井宏一



-
1. 感染管理認定看護師の派遣に至る経緯
 2. 感染管理認定看護師の派遣
 3. 感染管理認定看護師の派遣を受けて



1. 感染管理認定看護師の派遣に至る経緯

2.

3.

(1) 当法人について

- 社会福祉法人緑風会

高齢者総合福祉施設 しいの木の郷

従来型特養 80床

ショートステイ 4床

ケアハウス 20床

デイサービス 定員18名

高齢者総合福祉施設 しいの木の郷 埼玉県三郷市

[詳細](#)



特別養護老人ホーム 花ノ木の郷

ユニット型特養 90床

ショートステイ 10床

特別養護老人ホーム 花ノ木の郷 埼玉県桶川市

[詳細](#)



(2) 高齢者総合福祉施設 しいの木の郷でのクラスター

- 令和4年8月17日、受診後の入居者1名が陽性となり、最終的に特養入居者70名、職員17名まで感染が拡大する。
- 草加保健所への報告、8月19日埼玉県へオンライン個別支援（通称eMAT）を要請し、8月20日に個別支援を受ける。eMATより埼玉県クラスター対策チーム（通称COVMAT）を要請し、8月23日にCOVMAT派遣により助言をいただく。
- 多床室での対応に苦戦するなか、ゾーニング、隔離、に対する具体的な方法等の様々な助言をいただく。

(2) 高齢者総合福祉施設 しいの木の郷でのクラスター

社会福祉法人 緑風会 しいの木の郷 3階
令和 4 年 8 月 19 日 18時00分

日勤PHS:1006
夜勤PHS:1009

- グリーンゾーン(ガウンなし)
基本的な感染対策を行います。イエローゾーンで着用していたガウンを脱ぎます。
- イエローゾーン(ガウン一枚着用)
感染が疑われるエリアです。常時ガウンを一枚着用
- レッドゾーン(ガウン二枚着用)
着用中のガウンの上にもう一枚ガウンを着用し、退出時に外側のガウンを脱ぎます。
- グレーゾーン(ガウン二枚着用)
この色の居室は濃厚接触者です。レッドゾーンと同じ対応となります。

現在の陽性者数
入所者 10 名
職員 6 名

- ※エレベーターの使用は「物品のみ」に制限します。
- ※1階洗濯室の窓を開放しておきますので、退勤時に制服をカゴに入れ、ユービコールを吹きかけてください。
- ※洗濯は 10時30分(夜勤終了後)、17時(早番終了後)、20時(遅番終了後)とします。次回出勤時に制服を回収してください。



社会福祉法人 緑風会 しいの木の郷 3階
令和 4 年 8 月 24 日 18時00分

日勤PHS:1006
夜勤PHS:1009

- グリーンゾーン(ガウンなし)
基本的な感染対策を行います。
- イエローゾーン
PPEを脱ぐエリアです。
- レッドゾーン
陽性者がいるエリアです。
- グレーゾーン
濃厚接触者がいるエリアです。レッドゾーンと同様の対応となります。

現在の陽性者数
入所者 20 名
入院 2 名
職員 15 名

- ※エレベーターの使用は「物品のみ」に制限します。
- ※1階洗濯室の窓を開放しておきますので、退勤時に制服をカゴに入れ、ユービコールを吹きかけてください。
- ※洗濯は 10時30分(夜勤終了後)、17時(早番終了後)、20時(遅番終了後)とします。次回出勤時に制服を回収してください。



(3) 花ノ木の郷でのクラスター

- 令和5年1月1日、入居者4名・職員1名が陽性となり1月4日には入居者5名・職員2名まで感染が拡大する。最終的に入居者24名・職員18名まで感染拡大。
- しいの木の郷でいただいたCOVMATからの助言が的確で、参考になったことを考え、感染の拡大を予防するため、1月4日に鴻巣保健所へCOVMATの要請を相談。
- COVMATの派遣には、チームの招集までに時間が必要となること、現在の状況から判断すると、COVMATではなく、COVMATに所属する感染管理認定看護師の派遣を打診され、1月6日に派遣・訪問いただく。



1.

2. 感染管理認定看護師の派遣

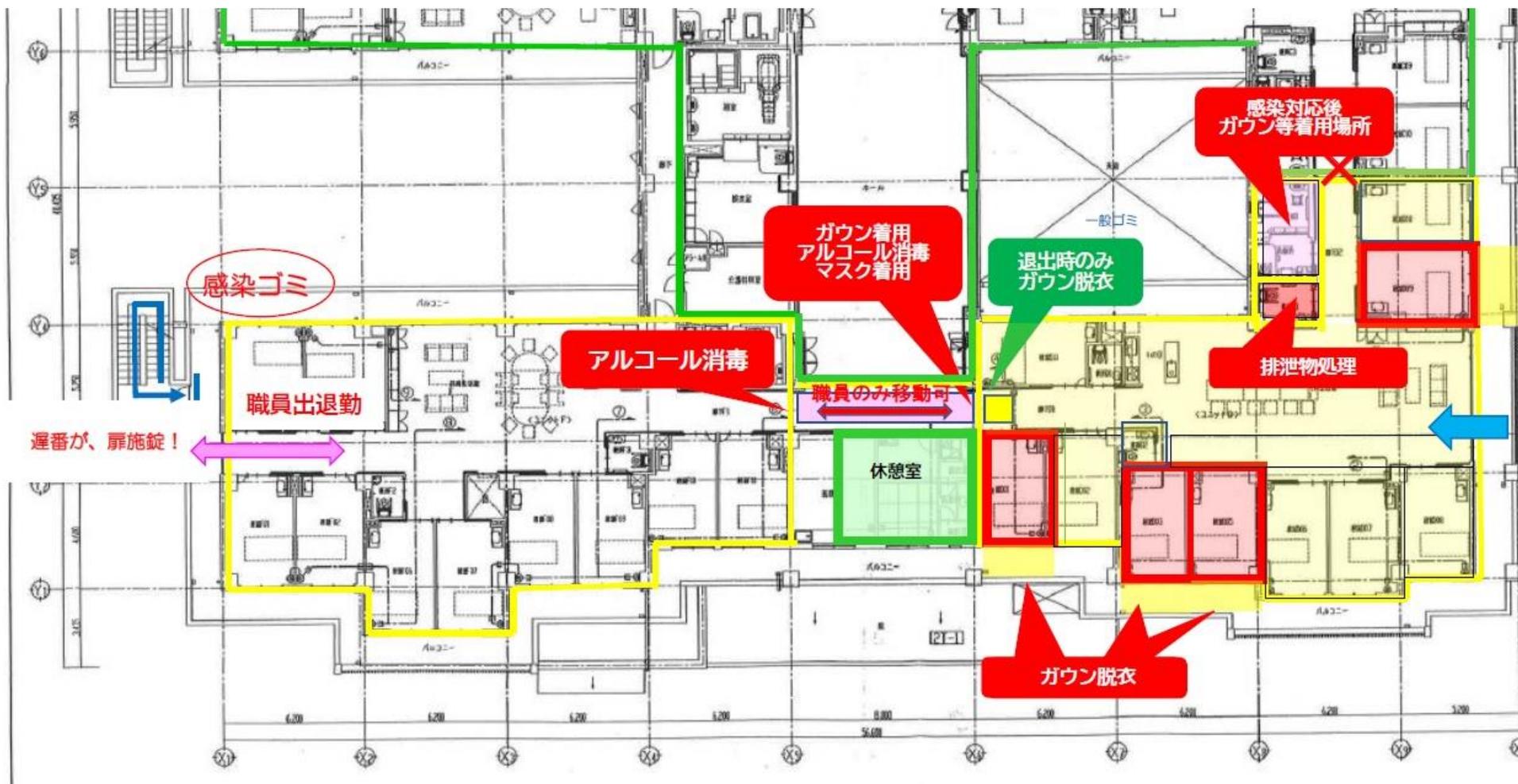
3.

(1) アドバイスを頂く前の対応

- 令和4年8月に初めて陽性者が発生したときの対応をそのまま実施していた。
- ゾーニングについて、感染ユニットの廊下やリビングは「感染の可能性がある」とし、イエローゾーンとしていた。ユニットのリビングへ入る段階でガウンを着用し、感染者の居室に入った後は、外の廊下を使用し、汚染したガウンを全て脱いだ状態でユニットに戻っていた。
- 感染ユニットの入居者については、全員トイレ以外を居室隔離としていた。
- 食事の配膳車について、ユニットリビングへは入れず、使い捨て食器での食事提供を実施。
- 洗濯について、3日間袋に入れ、外で放置したあとで洗濯。

(1) アドバイスを頂く前の対応

- ユニットリビングは全てイエローゾーン

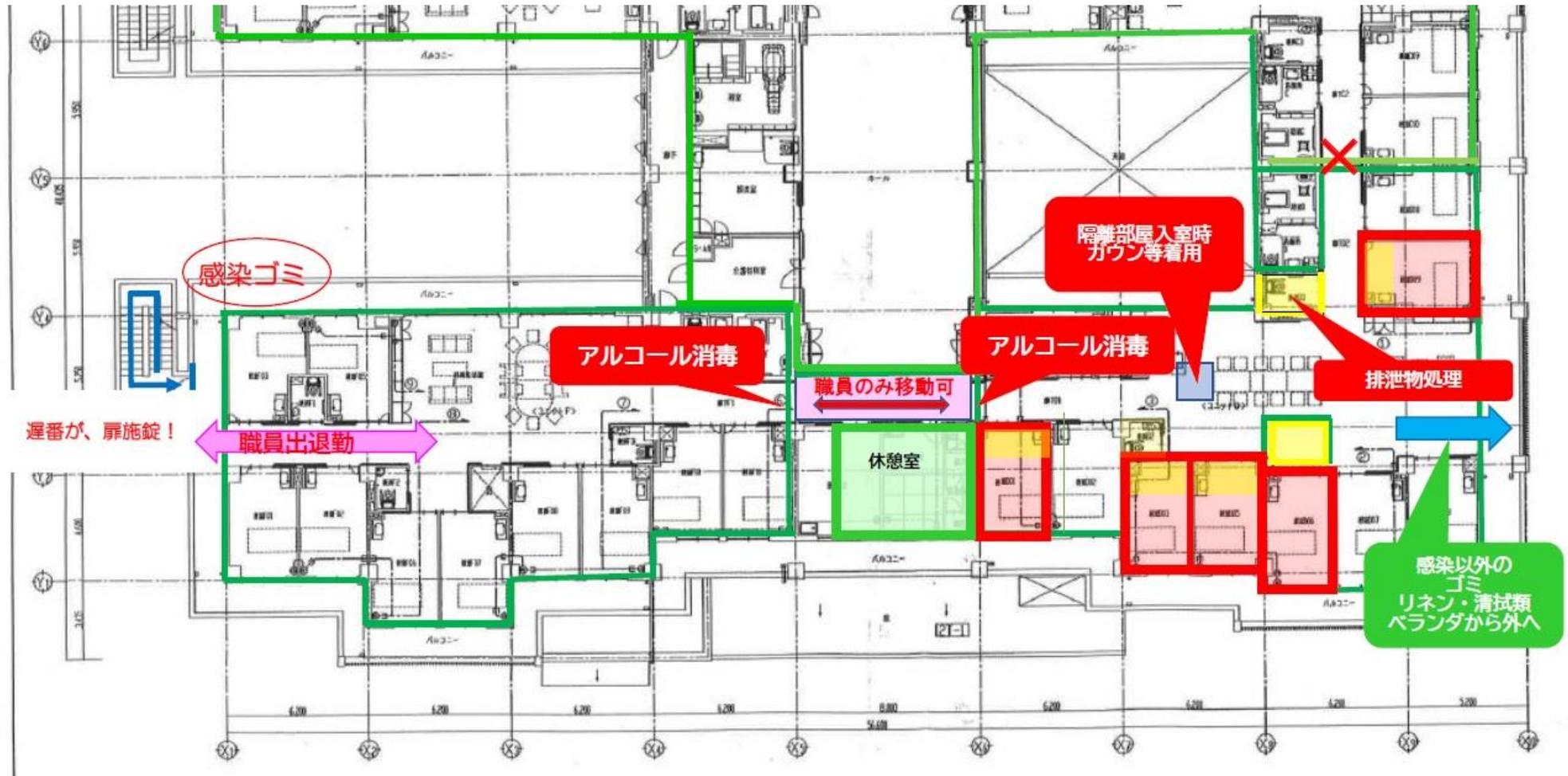


(2) アドバイスを頂いた後の対応

- ユニットリビングをイエローゾーンからグリーンゾーンへと変更。各感染者の居室で、ガウンの脱衣が完結。
- 感染者以外の入居者については、ユニットリビングへ出入りを自由とした。
- 食事について、可能限り居室での個食提供とするが、リビングで離れた状態での食事提供も可能とした。
- 配膳車をユニットリビングへの出し入れ可とし、感染者以外の入居者については通常の食器で食事提供。また、厨房職員のフロアへの出入りの解禁。
- 洗濯について、適正に希釈された洗濯用洗剤に10分間浸け置きしたあと、洗濯。

(2) アドバイスを頂いた後の対応

- グリーンゾーン、イエローゾーンの考え方に大きく変化



まとめとして

	変更前	変更後
ユニットリビング	イエローゾーン	グリーンゾーン
配膳車	ユニットリビング禁止	ユニットリビング可
食事提供	全員居室	一部リビング可
食器	全員使い捨て	感染者のみ使い捨て
洗濯	3日間経過後 洗濯	洗濯用洗剤に10分間 浸け置きし洗濯



1.

2.

3. 感染管理認定看護師の派遣を受けて

感染管理認定看護師の派遣を受けて

- 感染対応策が日々変化するなか、迷いと不安を感じながら判断し、対応をしていた。専門的かつ新しい情報で助言いただいたことで、自分たちの対応が正しかったこと、過剰であったことが確認でき、正しい対応と、何より安心感につながった。
- 過剰な対応が適正化されたことで、現場で対応する職員の負担が大きく減った。
- 感染対応策については、厚生労働省や埼玉県のホームページに情報があり、研修等もあるが、あくまで一般論であり、自分たちの施設に合わせた感染対応策は自分たちで考える必要がある。
- 今回、感染管理認定看護師の派遣を受けて、一般論ではなく、私たちの施設の環境での具体的かつ適切な助言をいただけたこと、疑問点をその場で確認できたことで、根拠と自信をもって感染対応にあたることができるようになった。

ご清聴ありがとうございました

